

SDGraphについて

- データファイルをもとに X,Y グラフを作成します。
- グラフファイルは、データファイル(*.dat)と書式ファイル(*.sdg)で構成されます。
- 1つのデータファイルにおいて複数の Y データ列をプロットできます。
- グラフは、X 軸 1 ケに対し Y 軸を 3 ケまで設定可能です。
- グラフ枠はマウスにて大きさ・配置・原点位置を自由に設定できます。
- 使い方

- ①SDGraph Menu のファイルリストボックスにてデータファイル(*.dat)あるいはグラフ書式ファイル(*.sdg)を選択。
- ②「データ表示」あるいは「グラフ描画」ボタンをクリックする。
- ③画面に従い好みのグラフ書式に設定する。
- ④グラフの保存は、SDGraph 画面の「グラフの保存」による。書式ファイル(*.sdg)を生成・保存する。

データファイル

- データファイルは、拡張子*.dat のテキストファイルとして下さい。
- 行方向のデータ区切りは、カンマあるいは空白として下さい(両者の混在、Tab 区切りは不可)。
- データファイルの最大列数は X 軸を含め 10 列です。
- データファイルは「データ編集」にて編集可。
- データファイルに時刻データ(ex. 03:11:25 など)がある場合、時刻データ列を一括して数値化(ex. 3.19)可能。数値化後のファイルは拡張子 *.new として保存できます。

グラフ書式ファイル

- データファイルと同名のグラフ書式ファイル(拡張子 *.sdg)を作成・保存します。
- グラフ書式ファイルにより保存時のグラフを再現できます(同名のデータファイル必要)。

軸

- X 軸は 1 ケ、Y 軸は 3 ケ(Y,Y2,Y3 軸)まで設定可能です。
- Y2 は Y と対面の縦軸、Y3 は Y と同一の縦軸グループに配置されます。
- X,Y 軸の目盛数値は「グラフ設定」にて変更できます。

グラフ枠

- マウスによりグラフ枠(フレーム)の大きさ・配置・原点位置の設定変更ができます。
- 軸・フレームの設定変更値はデフォルトとして保存できます(ファイル DDATA.def)。
- フレームは細線と太線のいずれかを選択できます。
- Y 方向プロットについて枠線制限なしと枠線内のいずれかを選択できます。

プロットマーク

- Y,Y2,Y3 軸データのプロットマークは、データリスト時の軸設定チェックボックスにて設定します。
- チェックボックスごと、チェック on 時、表示されているプロットマーク・マークサイズが登録されます。

コメント

- プロットエリアの任意位置にコメントを表記できます。
- コメントメニューで、コメントの追加、記入逆順での削除、全削除が可能です。
- マウスクリックにより任意のコメントを修正・削除できます。
コメント選択後、左クリックでクリック位置へ移動、右クリックでコピーできます。Delete キークリックにより選択コメントを削除できます。
変更されたコメント情報は「グラフの保存」でグラフ書式ファイル(*.sdg)に保存されます。